

## ◆ INQUA 2015 名古屋大会通信 (1)

国際第四紀学連合第 19 回大会組織委員会

国際第四紀学連合第 19 回大会 (2015 INQUA Congress - Nagoya) の開催まで 3 年を切りました。INQUA 大会の日本開催は、私たちにとって百年に 1 回の大変貴重な機会であり、日本の第四紀および第四紀研究を世界の人たちにより理解してもらえ、また海外の最前線の研究をより身近に勉強できる、更に世界の研究者と知り合いになれる絶好の機会です。2015 INQUA 大会への参加は、今後の私たちの活動や日本の第四紀研究を間違いなく大きく飛躍させてくれるものと確信しています。この貴重な機会を是非活用し、皆様の積極的な参加をお願い申し上げます。

昨年の INQUA 招致に際しましては、多くの方々からご支援、ご協力、ご指導を頂きました。改めて御礼、感謝申し上げますと共に、INQUA 開催に向けて、引き続きご支援を頂きますようお願い申し上げます。

2011 年 7 月の第 18 回 INQUA 大会 (ベルン) で名古屋開催が決まってから、同年 8 月に日本第四紀学会と日本学術会議地球惑星科学委員会 INQUA 分科会が合同で、2015 INQUA 大会に向けての組織委員会を発足させ準備を行ってきています。名古屋大会に向けての準備状況と今後のスケジュールについて報告致します。2015 INQUA 大会に向けて、ご質問、ご意見などありましたら、事務局まで連絡して頂きますようお願い致します。事務局 (2015inqua-sec-ml(at)aist.go.jp)

## 1. 大会の概要

国際第四紀学連合第 19 回大会 (2015 INQUA Congress - Nagoya) は、招致提案書のように、下記の内容で開催予定です。

- ・期日：2015 年 7 月 27 日 (月) ～ 8 月 2 日 (日)
- ・会場：名古屋国際会議場 <http://www.nagoya-congress-center.jp>
- ・テーマ：社会のための第四紀科学「Quaternary Science for Society」を目指して下記の主テーマを設けています。

Quaternary Perspectives on Climate Change, Natural Hazards, and Civilization

- ・主要サブテーマ：
  1. Quaternary science for natural hazard mitigation
  2. Understanding and quantifying past changes in the Earth to improve projections of future climate, sea-level, and environmental changes
  3. Dynamics of the human environment interaction
  4. Developing and integrating new technologies for Quaternary chronology and stratigraphy
- ・巡検：プレ、ポスト、中日合わせて 20 以上

## 2. 組織委員会

ベルン大会に向けての招致委員会の幹事会を中心として、8 つの委員会と事務局からなる下記の体制で組織委員会を発足させ、また委員長、副委員長、及び各委員会・事務局の委員長からなる組織委員会幹事会を中心に準備を行ってしています。2011 年 8 月以来、今までに 5 回の幹事会を開催してきました。各委員会のメンバーについては、今後も必要に応じて順次追加する予定です。

国際第四紀学連合第 19 回大会 組織委員会 (2012.8.22 現在)

委員長：斎藤文紀  
 名誉委員長：杉村 新  
 副委員長：遠藤邦彦、奥村晃史

顧問：海津正倫、太田陽子、大場忠道、北里 洋、熊井久雄、佃 栄吉、中島映至、町田 洋、安成哲三

プログラム委員会：小野 昭（正）、横山祐典（副）、  
INQUA の 5 つの委員会、PAGES, IPCC, 名古屋大会のサブテーマ等からの関係者で委員会を構成予定  
巡検委員会：鈴木毅彦（正）、三田村宗樹（副）、堀 和明  
会場委員会：中村俊夫（正）、中塚 武、鈴木康弘、齊藤 毅、森 勇一、小嶋 智、豊蔵 勇  
広報委員会：兵頭政幸（正）、宮内崇裕（副）  
財務委員会：松浦秀治（正）、近藤 恵（副）  
招聘委員会：渡邊真紀子（正）、高岡貞夫（副）  
募金委員会：竹村恵二（正）、山崎晴雄（副）、牧野内 猛、鈴木康弘、奥村晃史  
出版委員会：出穂雅実（正）、田村 亨（副）、門脇誠二  
事務局：吾妻 崇（正）、池原 研、植木岳雪、近藤玲介、藤原 治、田村 亨

各委員会：正：委員長、副：副委員長

### 3. 科学セッションと INQUA の委員会

INQUA 大会では 100 弱のセッションが設けられ、その内の 6～7 割が INQUA の委員会に関係しています。INQUA には下記の 5 つの委員会があり (<http://www.inqua.org/commissions.html>)、INQUA の大会と大会の間の 4 年間は、各委員会の International Focus Groups や Commission Projects による活動が行われています。個々の活動については、上記のウェブページをご覧ください。

Coastal and Marine Processes (CMP)  
Paleoclimate (PALCOMM)  
Humans and Biosphere (HaBCom)  
Stratigraphy and Chronology (SACCOM)  
Terrestrial Processes, Deposits and History (TERPRO)

各委員会のプロジェクト等の活動は、基本的には毎年 INQUA 本部からの公募によって（締切は通例 1 月末頃）、各委員会できとりまとめられます。大会と大会の間のこれらの活動の最終成果報告会として INQUA 大会は機能しています。INQUA から支給される各プロジェクト予算は約 3000～6000 ユーロ/年で、研究費ではなくワークショップ等の開催費用に支給されます。日本からの提案も採択されています。毎年公募がありますので、積極的な応募をお願いするとともに、これらのプロジェクトの活動や会合には是非ご参加ください。すべての活動は、上記のウェブページに掲載されています。ご質問などありましたら、上記のウェブページの担当者に連絡するか、奥村晃史 INQUA 副会長にお尋ね下さい。

### 4. 巡検の公募

INQUA 大会では、プレ、ポストと中日の 1 日巡検、合わせて 20 を超える巡検を予定しています。巡検は、日本の地質、地形、古生物、人類・考古遺跡等の研究成果を直接、現地で海外の研究者に説明できる絶好の機会です。また海外の研究者にとって何が理解しにくいのか、何が自分たちの常識と異なるのか、実際に見てもらい、時間をかけて聞いてもらえるチャンスです。論文だけではなかなか理解できない事も一目瞭然です。これから国際誌に投稿する場合も、またすでに印刷になった研究も、この機会を是非活用して下さい。また巡検は、海外の研究者に食事を含めて日本の文化を知ってもらえる良い機会です。巡検を通じて友人となる場合も多いでしょう。詳しくは、本号の巡検公募の案内をご覧ください。

### 5. 今後の予定

名古屋大会に向けてのスケジュールの概要は以下の通りです。  
2012 年 9-10 月：ウェブページ公開 (INQUA、日本第四紀学会の URL とリンク)  
2012 年 11-12 月以降：関連学協会・機関等への共催・後援などの依頼  
2013 年 8 月：日本第四紀学会弘前大会  
2013 年 11 月：セッション公募  
2014 年 3 月：セッション締め切り  
2014 年 7 月：登録、発表、巡検申し込み開始  
2014 年 8 月：日本第四紀学会大会  
2014 年 12 月末：発表申し込み締め切り  
2015 INQUA 大会：2015 年 7 月 27 日～8 月 2 日

### 6. 連絡先

2015 INQUA 大会に向けて、ご質問、ご意見などありましたら、事務局まで連絡して頂けますようお願い致します。事務局 (2015inqua-sec-ml(at)aist.go.jp)